



年 組 名前

# 道新ワークシート

## ミラノ五輪開幕

### 開会式 4会場で

第25回冬季オリンピック・ミラノ・コルティナ大会が6日(日本時間7日)、開幕した。四つのエリアに競技会場が分散する広域開催で、開会式もミラノのジュゼッペ・メアツァ競技場(通称サンシロー)を中心に、山間部も含め4会場で同時に選手が入場行進する形式で行われた。気候変動で開催可能な地域が減る時代に、新たな大会の在り方を探る17日間の祭典となる。



開会式で旗手の森重航選手を先頭に入場行進する日本選手団(6日、イタリヤ・ミラノ(共同))



今大会に日本は121選手が参加し、冬季最多でメダル18個だった前回北京大会を上回る成績を



目指す。旗手は、スピードスケート男子の森重航選手(25)「オカモトグループ、別海上風連中出」がミラノで、スノーボード女子の富田せな選手



ミラノ・コルティナ 冬季五輪 入場行進の4会場

で行われ、男子の二階堂蓮選手(24)「日本ビール、下川商高出」が国旗を掲げて先導。女子の高梨沙羅選手(29)「クラレ」も、ここやかに手を振っていた。森重選手は「メダリストとしてプレッシャーもあるが、自分らしいレースを届けたい」。二階堂選手は「世界一を自己指し、大舞台で自分らしい最高のパフォーマンスを体現したい」とのコメントを出している。イタリヤでの冬季五輪は2006年トリノ大会以来で、20年ぶりの度目。92カ国・地域が参加する。ウクライナに侵攻するロシアと同盟国のベラルーシ勢は国の代表としての参加は認められず、個人の中立選手として出場することになる。(ミラノ) 長峯亮、バルディフィエメ、工藤さえら

## 記事①

2026年2月8日(日) 朝刊 全道版 1ページ (記事は再編集しています)

## 記事②

### 戦死者ヘルメットで失格処分 ウクライナ選手が提訴

【ミラノ共同】ミラノ・コルティナ冬季五輪のスケルトン男子ウクライナ代表のウラジスラフ・ヘラスケビッチ(27)は12日、戦死者が描かれたヘルメットを着用しようとして失格とされた処分の取り消しを求め、スポーツ仲裁裁判所(CAS)

【ミラノ共同】ミラノ・S)に提訴した。CASは13日、ミラノでヘラスケビッチから聞き取りをした。CASによると、ヘラスケビッチは国際オリンピック委員会(IOC)が失格としたのは過剰な反応だとして「取り返しのない損害を生む」と主張。聞き

取り後、取材に応じ「IOCの大きな過ちだ」と改めて批判した。CASは五輪期間中の係争を処理するために臨時事務局をミラノに開設。訴えが起こされてから24時間以内に裁定を下すことも可能としている。提訴を受理したのは12日午後4時半(日本時間13日午前0時半)。IOCは、ロシアの攻撃で命を落とした母国のアス

リートたちの顔を描いたヘルメットを着用して競技することが、選手の表現に関するガイドラインに抵触すると判断した。ヘラスケビッチは12日の会見で「表現が何を意味するのか、よく分からない。笑うことだ」と述べ「解釈の余地が大き過ぎる」と指摘した。IOCのコメンタリー会

長は13日の記者会見で「競技の場では、どんな種類のメッセージもあってはならない」との考えを改めて示した。ウクライナのゼレンスキー大統領は12日、ヘラスケビッチの勇氣と愛国心に敬意を表し、勲章を授与すると発表した。同国政府は、ヘルメットに描かれていたのは東部の激戦地での戦闘で死亡した選手ら22人だと公表した。

2026年2月14日(土) 朝刊 全道(スポーツ) 14ページ (記事は再編集しています)



年 組 名前

---

# 道新ワークシート

(1) 記事①を読み、開会式が行われた会場のある4つのまちを次の中から選びましょう。

- (ア) ミラノ
- (イ) ジュゼッペ・メアツツァ
- (ウ) サンシーロ
- (エ) イタリア
- (オ) オカモトグループ
- (カ) リビーニョ
- (キ) バルディフィエメ
- (ク) プレダッツォ
- (ケ) コルティナ ダンペッツォ

(2) 国の代表としての参加が認められなかったのは、どこの国でしょうか。  
2つ答えましょう。

(3) ロシアがウクライナを攻撃したことにより、問題(2)のようなことが起こりました。また、この他にウクライナの選手が失格処分となった問題も起こっています。

どちらも国際オリンピック委員会(IOC)の判断によるものですが、あなたはこの判断に賛成ですか。それとも反対ですか。記事①と②を読み、次の中から立場を選んで、その理由を書きましょう。

- (ア) 賛成
- (イ) 反対
- (ウ) 一部賛成、一部反対
- (エ) その他(どのような立場が書きましょう)